

実績報告書

- 所在地 佐世保市船越町759
- 会長名 佐世保市立 船越小学校 特色ある学校づくり推進会
- 会長 伊藤 裕子
- 1 委託期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日
- 2 目的 本校学校教育目標「ふるさとを愛し、夢実現に向けて、創造性を高める船越っ子」の具現化を図るため、具体的方策に沿った教育実践活動を推進する。
- (1) 確かな学力を付けるため、標準学力調査を前・後期2回実施し、その結果を分析し、学力向上に向けた授業改善に活用するとともに、本校の取り組んできた学力向上対策の効果を検証し、次年度へつなげる。
- (2) 「総合的な学習の時間」における福祉・人権教育、平和教育、自然体験などを中心に、「学びに向かう力、人間性」を育むとともに「ふるさと教育」の充実を図る。
- (3) 花や野菜の栽培、さつまいもや大豆づくり活動などの体験活動を中心に、地域の特性を生かし、学年に応じた地域資源の活用を図る。
- 3 実践内容 (対象学年・時期・活動場所・活動内容等を具体的に記入する)
- 別添のとおり
- 4 成果
- キャリア教育では、本やテレビで見るあこがれの人物に登場いただき、気象予報士や天体の専門家になるまでの努力や生きがいなど、普段聞くことができない貴重な学習を行うことで、子供たちはみな高い関心を示し講演会に参加し、自分の人生設計について深く考えることができた。
 - 栽培活動を実施してきたことで、命を慈しむ心や育むことの大変さを感じることができた。また、地域の方の協力に対する感謝の気持ちをもつことができた。さらに、畑の管理や世話をすることを通して、働く苦労や収穫の喜びを感じることもできた。
 - 4月と1月に学力検査を実施し、実態を分析し課題を明確にすることができた。さらに、課題の改善に向け、授業改善や家庭学習の充実と、学校と家庭の両面から具体的に児童の学力向上を図ることができた。
 - 茶道体験は、日本古来の伝統の奥深さを感じ、大切にしていこうとする意識を高学年中心にもつことができた。
 - ふるさと学習は、我々が住む九十九地区について新たな知識を得ることによって、ふるさとへの愛情を深めることができた。

5 今後の課題

- 今年度も2回の標準学力調査を実施し、その結果から、算数科、国語科について課題であった学習内容の改善に向けて取り組むことができた。また、今年度は家庭学習の充実をめざし、先の調査で浮き彫りになった学習の課題を改善するために、学年別に復習に取り組ませた。2回目のテストでは更に改善点を洗い出し、授業改善へつなげることができ、一定の成果が得られた。今後も引き続き、家庭と連携しながら継続を図っていくとともに、より改善を行っていききたい。
- 全学年において、特色ある学校づくりの予算を活用して、外部の講師を招きながらそれぞれの学習を行うことができた。来年度は、予算も増えることを踏まえ、より多くの外部講師を招き、地域の伝統文化や自然の豊かさ、人々の温かさを尊重していくような、ふるさと教育を展開していきたいと考える。また、地域の人々をつながり、絶やさず、深まりのある学習を行えるようにしていく。